

授業科目名	国際保健特論 I <i>Advanced Studies in Global Health I</i>		担当教員	乗越 千枝、守山 正樹、 小川 里美	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	災害・国際協力、ヘルスプロモーションの分野における個人・集団の健康を多角的・構造的に捉えるために必要となる基本的な概念、諸理論、方法論を探究する。				
到達目標	1. 国際保健の基本的概念や動向を理解できる 2. ヘルスプロモーションにおいて活用できる概念、理論、方法・手法を理解できる 3. 健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を理解する 4. 個や集団の健康問題にアプローチする方法・手法について学び、その有効性と限界を理解できる				
授業計画	1回 プライマリ・ヘルス・ケアの理念と概念 (守山) 2回 ヘルスプロモーションの理念と概念 (守山) 3回 社会保障とヘルスケアシステムの概要 (守山) 4回 日本と諸外国の社会保障制度① (乗越) 5回 日本と諸外国の社会保障制度② (乗越) 6回 日本と諸外国の社会保障制度③ (乗越) 7回 ヘルスプロモーションの理論・方法① (乗越) 8回 ヘルスプロモーションの理論・方法② (乗越) 9回 ヘルスプロモーションの理論・方法③ (乗越) 10回 ヘルスプロモーションの理論・方法④ (乗越) 11回 人間の安全保障の概念と背景 (小川) 12回 人間の安全保障と健康格差 (小川) 13回 人間の安全保障と国際社会の取り組み (小川) 14回 人間の安全保障における国際連携の成果と課題① (小川) 15回 人間の安全保障における国際連携の成果と課題② (小川)				
学習方法	授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。				
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。 c-norikoshi@jrckien.ac.jp (乗越) ma-moriyama@jrckien.ac.jp (守山) s-ogawa@jrckien.ac.jp (小川)				
テキスト	特に指定しない				

<p>参考文献</p>	<p>Pender, Nola: <i>Health Promotion Model</i>, 1982, 小西恵美子監訳：ペンダーヘルスプロモーション看護論. 東京, 日本看護協会出版会, 1997.</p> <p>Lynne E.Young, Virginia Hayes: <i>Transforming Health Promotion Practice: Concepts Issues and Applications</i>, 2002, 高野順子・北山秋雄 監訳：ヘルスプロモーション実践の変革 新たな看護実践に挑む. 東京, 日本看護協会出版会, 2008.</p> <p>Green, L. W. Kreuter, M: <i>Health Program Planning: Educational and Ecological Approach 4th ed.</i>, 2005, 神馬征峰訳：実践ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価. 東京, 医学書院, 2005.</p> <p>Anderson, T. A. McFarlane J.: <i>Community as Partner Theory and Practice in Nursing 7th ed.</i>, 2014, エリザベス T. アンダーソン・ジュディス・マクファーレン編集, 金川克子・早川和生監訳：コミュニティ アズ パートナー地域看護学の理論と実際 (第2版). 東京, 医学書院, 2007.</p> <p>Leaning, J. et al.: <i>Humanitarian Crisis-The medical and public health response</i>. Cambridge, Harvard University Press, Cambridge, 1999.</p> <p>日本国際保健医療学会編：国際保健医療学第3版. 東京, 杏林書院, 2013.</p> <p>島内憲夫, 鈴木美奈子：21世紀の健康戦略シリーズ 6 ヘルスプロモーション WHO バンコク憲章. 東京, 垣内出版, 2012</p> <p>棕野美智子, 田中耕太郎：はじめての社会保障・福祉を学ぶ人へ 第13版. 東京, 有斐閣, 2016</p> <p>鎮目真人：比較福祉国家: 理論・計量・各国事例. 京都, ミネルヴァ書房, 2013.</p> <p>佐伯和子編：地域看護アセスメントガイドアセスメント・計画・評価のすすめかた. 東京, 医歯薬出版, 2007</p> <p>山浦晴男：地域再生入門: 寄りあいワークショップの力. 東京, 筑摩書房, 2015</p>
<p>評価方法</p>	<p>授業への参加度 (10%) プレゼンテーション (40%) レポート (50%)</p>